令和７年度大崎市民病院経営強化プランの実績評価について

１　大崎市民病院経営強化プランの概要及び実績評価について

本プランは，国の公立病院経営強化ガイドラインに基づき，令和６年３月に大崎市が策定した計画です。

令和６年度から令和９年度までを計画期間とし，医療機能の分担・連携強化，医療従事者の確保，経営形態の見直し，経営の効率化等に取り組みます。

本計画の取組実績は，年度ごとに大崎市病院事業外部評価検討会議において評価をいただくこととしています。

２　大崎地域における医療提供体制の目指す姿と構成市町の取組

令和５年１０月，大崎地域の１市４町（大崎市，色麻町，加美町，涌谷町，美里町）は，地域医療提供体制の目指す姿の実現に向け，連携協約を締結しました。本プランは，この協約を踏まえたものとなっています。

３　数値目標の達成状況

（１）医療機能・医療の質

評価項目	目標値	実績値	結果	達成度(%)
救急応需率	95.0 % 以上	96.1 %	○	101.2
手術件数（手術室実施分）	5,400 件 以上	5,757 件	○	106.6
外来化学療法件数	10,500 件 以上	11,400 件	○	108.6
入院患者満足度※	85.0 % 以上	87.1 %	○	102.5
論文発表・学会発表数	155 件 以上	205 件	○	132.3
専門又は認定看護師資格取得者数	17 人	18 人	○	105.9
総合診療医数	8 人	6 人	×	75.0
計	—	—	6/7達成	85.7

※　「外来患者満足度」と表記していた箇所は、「入院患者満足度」の誤りであったため訂正しました。

（２）連携強化・医療従事者の確保等

評価項目	目標値	実績値	結果	達成度(%)
紹介率	75.0 % 以上	82.16 %	○	109.5
逆紹介率	85.0 % 以上	97.76 %	○	115.0
連携医療機関（大崎地域の公立病院）への逆紹介率割合の増加率	6.5 p 以上	5.6 p	×	86.2
臨床研修医の受入人数	19 人	19 人	○	100.0
こどもサポート医登録施設数	45 件 以上	48 件	○	106.7
大崎地域全体での研修会等実施件数	16 件 以上	25 件	○	156.3
計	—	—	5/6達成	83.3

（３）経営の効率化　数値目標（主なもの）

評価項目		目標値	実績値	結果	達成度(%)
病院事業	経常収支比率	96.0 % 以上	94.7 %	×	98.6
	医業収支比率	91.6 % 以上	89.8 %	×	98.0
	修正医業収支比率	88.3 % 以上	86.1 %	×	97.5
	材料費（薬品費含む）対修正医業収益比率	34.2 % 以下	35.3 %	×	96.9
	委託費対修正医業収益比率	11.8 % 以下	11.8 %	○	100.0
	給与費対修正医業収益比率	54.6 % 以下	52.8 %	○	103.4
	計	—	—	2/6達成	33.3
本院	病床稼働率	81.8 % 以上	82.20 %	○	100.5
	新入院患者数	14,367 人 以上	14,780 人	○	102.9
	一日平均患者数（入院）	408.8 人 以上	410.9 人	○	100.5
	平均診療単価（入院）	84,906 円 以上	87,837 円	○	103.5
	一日平均患者数（外来）	1,088.8 人 以上	1,110.0 人	○	101.9
	平均診療単価（外来）	28,744 円 以上	32,114 円	○	111.7
	平均在院日数	9.5 日 以上	9.2 日	×	96.9
	計	—	—	6/7達成	85.7

注）数値目標以外の取組事項に係る実績等については，資料 2-2 をご覧ください。

４　取組実績に対する総括

令和７年度における数値目標の達成状況は次の表のとおりです。

項目	項目数	達成項目数	達成率(%)
医療機能・医療の質	７項目	６項目	８５．７
連携強化・医療従事者の確保等	６項目	５項目	８３．３
経営の効率化	６項目	２項目	３３．３

「経営の効率化」項目の未達成については，国が定める公的価格である診療報酬と人件費，物価等とのバランスの悪化による収支の悪化や，分院の入院・外来患者数の目標未達成等が主な要因となっています。

また，機能分化・連携強化，住民理解の促進，地域医療連携の拠点となる施設の整備，医療資源の共有等について，調査検討，実施等をそれぞれ進めることができました。

今後は，主に次の取組を進めていきます。

- 地域医療連携拠点施設の本体工事の完成（令和９年度竣工予定）
- 地域医療連携拠点施設の開設に向けた運営方法及び体制の検討（令和９年度運営開始予定）
- 令和８年度診療報酬改定等への適切な対応による収支改善
- 経営形態の見直しに係る調査・検討
- 地域の医療機関等との機能分化・連携強化
- 働き方改革への対応
- 遠隔診療の実施に向けた体制整備

令和７年度経営強化プラン実績評価について
（大崎地域における医療提供体制の目指す姿の実現に向けた取組）

計画期間：令和6～9年度（2年度目）

役割・機能の最適化と連携の強化

①　機能分化・連携強化

大崎地域（大崎市，色麻町，加美町，涌谷町，美里町）1市4町で連携協約を締結

※　大崎地域の自治体病院連携イメージ図

【構成病院】
かかりつけ医機能等
回復期・慢性期を担当

位置関係	開設自治体等	構成病院等名
西部	大崎市	鳴子温泉分院
		岩出山分院
	加美町 色麻町	公立加美病院
中央	大崎市	健康管理センター
東部	大崎市	田尻診療所
		鹿島台分院
	涌谷町	涌谷町国保病院
	美里町	美里町立南郷病院

回復期：在宅復帰に向けた医療やリハビリ等を要する時期
慢性期：長期にわたって療養が必要な時期

役割分担
患者の紹介/逆紹介

③　職員派遣の実施
（基幹病院から構成病院へ）

【基幹病院】
地域医療支援病院
救命救急センター等
高度急性期・急性期
を担当

急性期：病気や怪我の症状が強く，急速に進行する時期
高度急性期：急性期のうち，特に診療密度の高い医療を提供することが必要な時期

主な取組実績

・令和7年4月に「集中治療科」を設置
・令和7年1月より，涌谷町国保病院へ毎週木曜日に当直医を派遣開始（令和8年度終了）
・令和6年4月より，鹿島台分院で訪問看護を開始
・令和7年6月より，岩出山分院で訪問看護を開始
　→　3分院での訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション提供体制を確立

※　令和8年3月，鹿島台分院で，公益財団法人日本医療機能評価機構が行う病院機能評価の受審により，地域に根ざして質の高い医療サービスを提供すべく日常的に努力している病院として一定の水準を満たしているとの認定（第三者評価）を取得。
　このことにより，3分院すべて，病院機能評価認定病院となりました。

住民の理解に向けた取組

主な取組実績

・「市民病院だより」年2回発行（市内全戸配付）
・病院広報誌「つながり」年4回発行
・各分院・診療所だよりの発行
・感染症予防や救急受診の啓発記事の掲載
・各種地域イベントへの参加と周知活動の実施
・ふれあい健康フェスティバルでの健康講話の開催　等

地域医療連携の拠点となる施設の整備

地域医療連携拠点施設

主な取組実績

令和7年 1月　基本設計完了
令和7年 6月　実施設計完了
令和7年11月　工事着工

⑤　医療資源の共有

主な取組実績

・令和7年度よりコンサルティング事業者と契約締結し，業務委託の見直しを実施
・構成病院を訪問し，共同購入・共同契約の検討を実施

経営形態の見直し

主な取組実績

・令和6年5月，地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構「日本海総合病院」視察
・令和8年3月「大崎地域の医療提供体制の確保に係る連携協約推進協議会」において，総務省経営・財務アドバイザーによる制度勉強会開催
・令和8年7月「地域医療連携推進法人」に関する院内勉強会開催

施設・設備の最適化

主な取組実績

・地域医療連携拠点施設の整備
・電子カルテバージョンアップ（分院）
・健診システム更新　　等

④　遠隔医療等の利用

主な取組実績

・令和7年7月より，本院においてMMWIN（みやぎ医療情報ネットワーク）によるカルテ共有を開始
・令和7年10月より，鳴子温泉分院において鬼首地区公民館でのオンライン診療を開始（毎月第4木曜）
・令和8年3月に遠隔診療・看護フォーラムを開催
・地域医療連携拠点施設建設にあわせて，遠隔医療システム，医療機器等の検討を進めている。

医師･看護師等の確保と働き方改革への対応

3階	講義室，研修室，実習室，オンライン診療室
2階	管理諸室，当直室
1階	夜間急患センター 感染症対応スペース

・教育・研修環境の拡充
・職員派遣の拠点機能の整備
　← 拠点施設にて対応

・最適・効率的な勤務形態のあり方の検討
・ICT等の活用
・遠隔医療・オンライン診療を利用した人材派遣の検討(D to D方式等)　等

⑥　新興感染症発生時等への備え

新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組

・大崎地域における感染症の相談，診療支援機能を発揮するため，令和7年4月より「感染症科」を設置した
・現在の感染症外来機能を拡大。
・発熱外来，トリアージスペース等を常設予定

②　夜間における診療体制の整備

大崎市の夜間急患センターを移転し，現在の対応時間（平日19:15～22:00等）に加えて，平日22:00～翌朝7：00の一次診療にも対応予定。（令和9年度運営開始予定）